

トノサマガエル アカガエル科

田んぼに多く、わが国では昔から親しまれてきた代表的なカエルですが、近年は少なくなってきたといわれています。



トノサマガエルのメス

形態・生態

親の体長はオス4～8cm、メス6～9cm。オスの背中は黄褐色～緑色（タマゴを産む時期になると金色に変わります）で、黒いはん点がはっきりしません。メスの背中は灰色（タマゴを産む時期でも体の色は変わりません）で、はん点が不規則につながって黒っぽく見えます。日本のカエルでは、メスとオスの体の色がちがうのはトノサマガエルだけです。

トノサマガエルはふつう、背中の中央にオス・メスとも明るい色のすじがあり、腹は白くてはん点がありません。しかし時には背中の中央のすじがないものや、腹に灰色のはん点がみられることがあります。

5、6月ごろ水田や浅い水たまりでタマゴを産み、オタマジャクシは約2か月で変態して子どものカエルになり、オス・メスとも2年で親になります。寿命は2～4年です。

調べやすい時期

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

腹に灰色のはん点

県内の分布

能登から加賀まで広く生息していますが、分布についてはくわしく調べられていません。この調査によって、石川県のトノサマガエルの分布の現状が明らかになるでしょう。

県内のトノサマガエルの背中や腹のはん点についてはほとんど報告がありません。したがって、見つけたトノサマガエルの背中や腹の様子を写真で記録することは、本県の分布の研究を進める上で大切な資料になります。



トノサマガエルの腹

見分け方のポイント

ダルマガエル（近くでは福井県の嶺南地方にいます）はトノサマガエルに似ていますが、図に示した特ちょうを比べると区別することができます。

	トノサマガエル	ダルマガエル
背中	ふつうは中央に明るい色のすじがある。 黒いはん点は不規則につながっていることが多い。	中央のすじの無いものが多い。 黒いはん点はつながっていないことが多い。
腹	白くてはん点の無いのがふつう。	はい色の細かなはん点がある。
後足	長い。	短い。